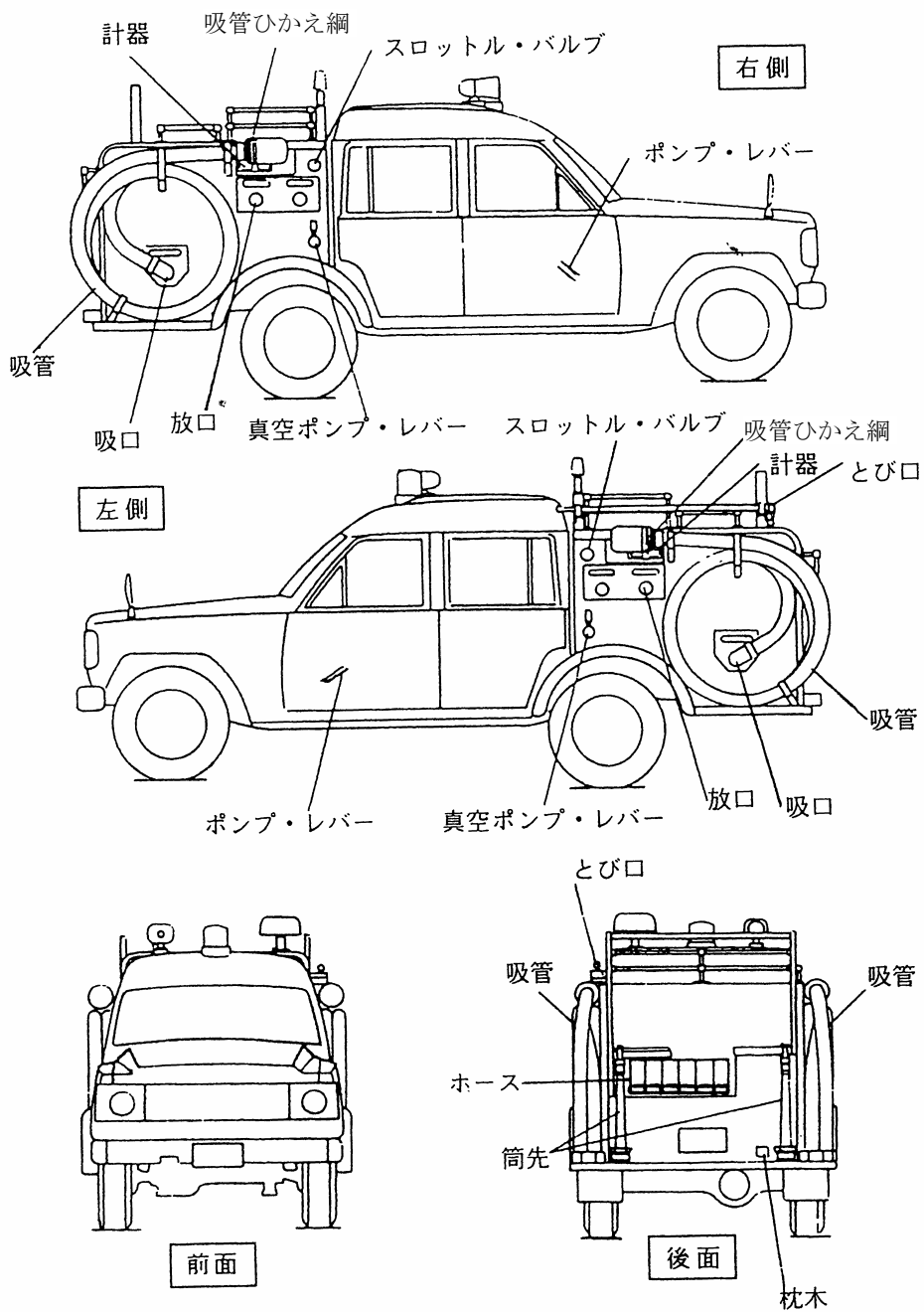


ポンプ車操法

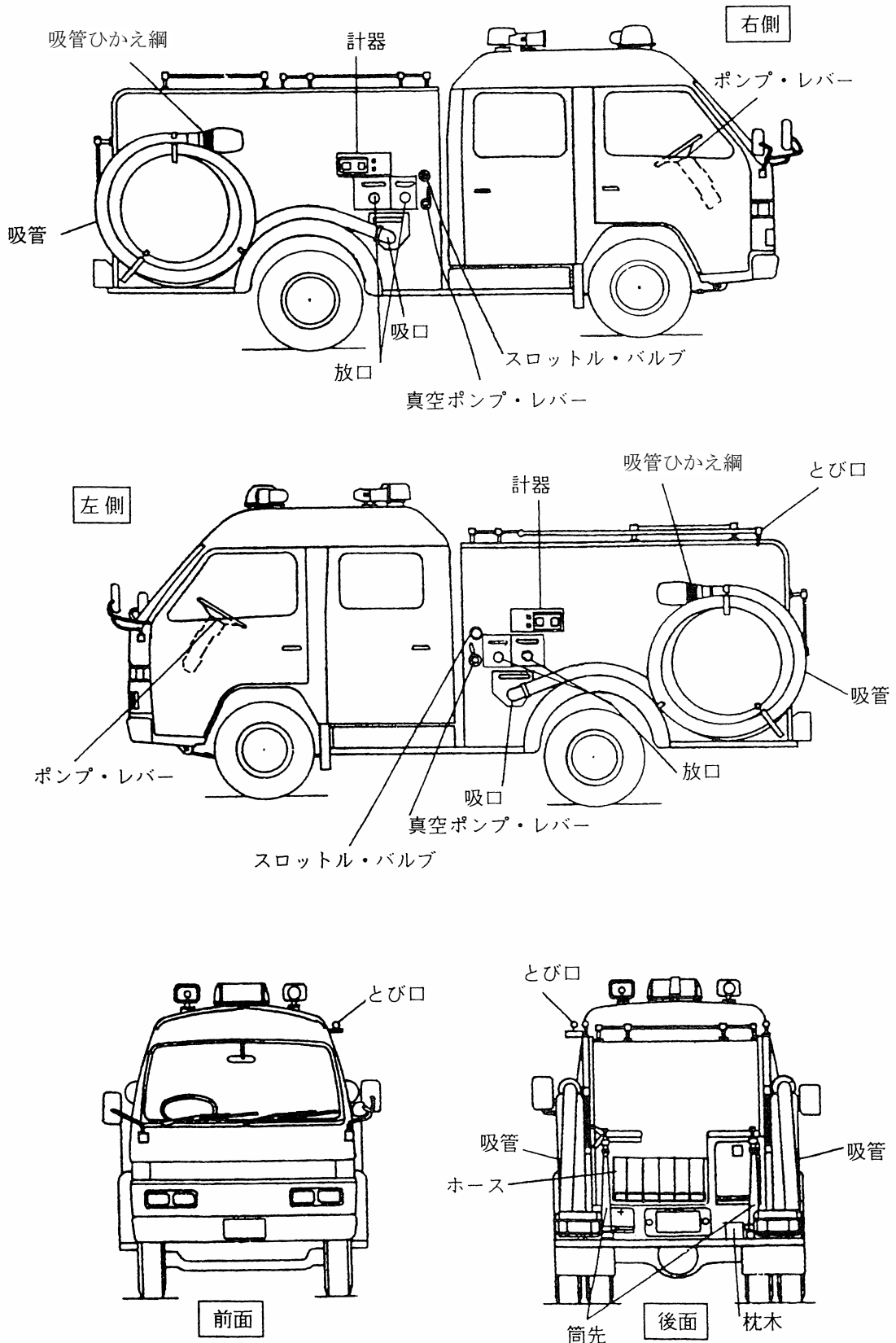
1 ポンプ車各部の名称

積 載 品			
ホース (65mm×20m以上)	6 本	枕木	1 個
吸管 (75mm×8 m以上)	1 本	とび口 (1.5m以上)	1 本
筒先 (23型以下の可変ノズル付)	2 本	吸管ひかえ綱	1 本
車輪止め	1 対	(10mm×10m以上)	

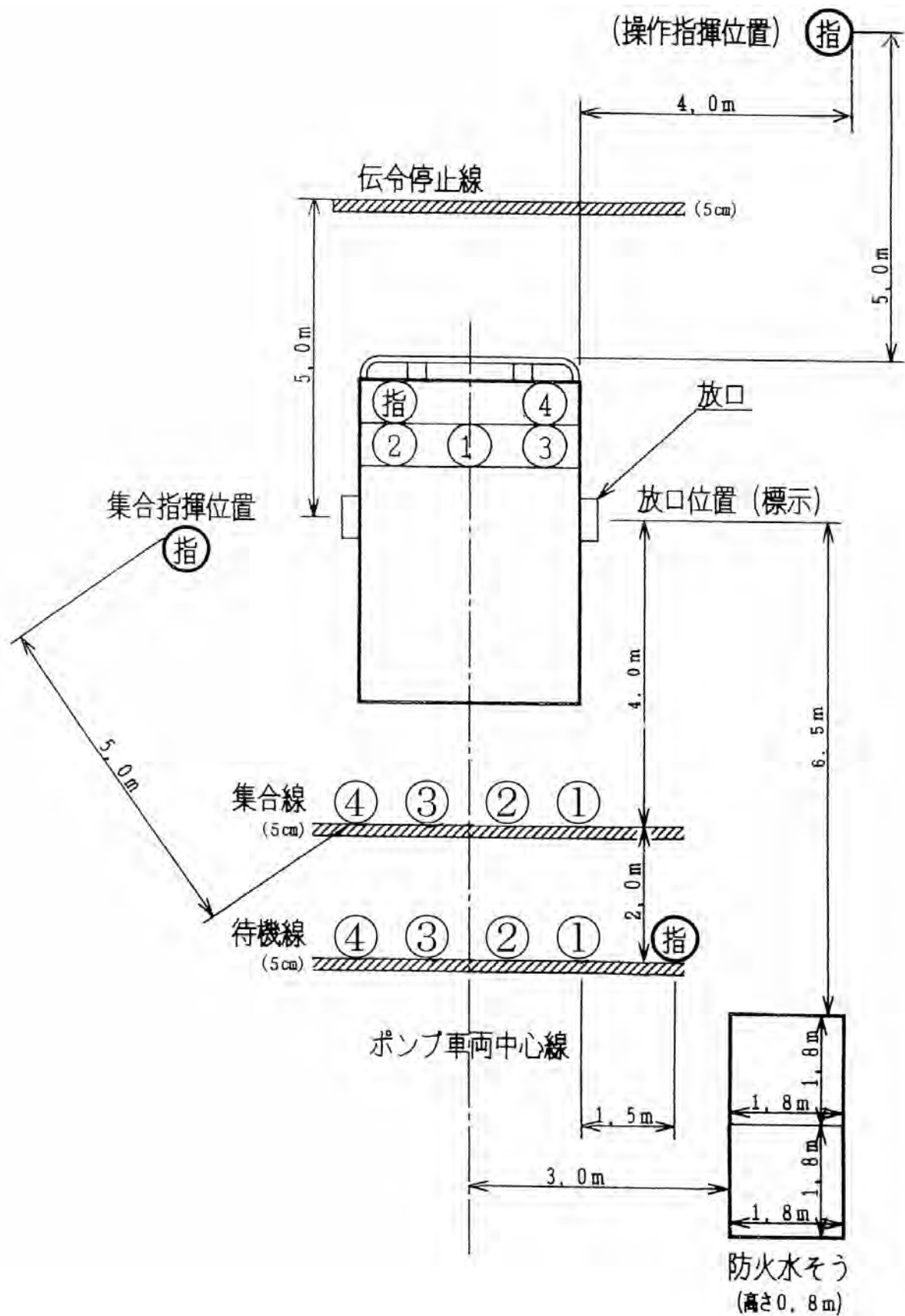
ア BD型外観図



イ CD型外観図



2 ポンプ車操法の定位



3 ポンプ車操法実施要領

実施項目	実施要領
待機	<p>指揮者</p> <p>待機線上に①の右 1.5メートルの位置で、「整列休め」の姿勢で待機する。</p> <p>各隊員</p> <p>待機線上に一直列横隊の隊形で、②と③との中間がポンプ車の中央になるよう整列し、その後「整列休め」の姿勢で待機する。</p>
集合	<p>指揮者</p> <p>合図により基本の姿勢をとり、集合指揮位置（集合線上の④のかかと中央から左斜前方5メートル）の方向に半ば左向けを行い、かけ足行進の要領で発進し集合指揮位置で左向け止まれの要領で停止し、「集まれ」と号令し、各隊員を集合させる。</p> <p>各隊員</p> <p>④の「集まれ」の号令で基本の姿勢をとり、かけ足行進の要領で発進し、集合線上に②と③の中間がポンプ車の中央となるよう一直列横隊の隊形で、②を基準に自主整とんを行い、（整とん要領は①を除く各隊員は右手を腰にあて、ひじを側方に張る。頭は②は前方、①は左、③④は右に向けて整とん）集合する。</p>
点呼	<p>指揮者</p> <p>各隊員が集合線に整列したならば「番号」と号令する。</p> <p>各隊員</p> <p>④の「番号」の号令で①から順次各自の番号を呼唱する。</p>
開始報告	<p>指揮者</p> <p>集合指揮位置から、かけ足行進の要領で発進し審査班長の前方5メートルの位置で停止し、審査班長に挙手注目の敬礼を行い、「◎都道府県○市町村消防団ただいまからポンプ車操法を開始します。」と報告し、挙手注目の敬礼を行った後、回れ右をしてかけ足行進の要領で発進し、集合指揮位置で各隊員に相対して停止する。</p>

実施項目	実施要領
	<p data-bbox="446 286 644 327">各 隊 員</p> <p data-bbox="459 344 1024 385">⑩の開始報告中は、基本の姿勢で待つ。</p>
想定付与	<p data-bbox="446 398 644 439">指 揮 者</p> <p data-bbox="427 456 1375 546">「火点は前方の標的、水利はポンプ車右側後方防火水そう、手びろめによる二重巻ホース一線延長」</p> <p data-bbox="446 564 644 604">各 隊 員</p> <p data-bbox="459 622 928 663">基本の姿勢で⑩の想定を受ける。</p>
乗 車	<p data-bbox="446 676 644 716">指 揮 者</p> <p data-bbox="427 734 1375 882">「乗車」と号令し、ポンプ車に正対し、各隊員の乗車を確認した後乗車する。（ポンプ車正対時機は「乗車」の号令後、ただちに行うものとする）。</p> <p data-bbox="446 900 644 940">各 隊 員</p> <p data-bbox="427 958 1375 1263">⑩の号令で①②は、半ば左向けをし、③④は大きく右向けをして、一斉に乗車する位置に前進して停止した後④の「よし」の合図で乗車し、④は、エンジンを始動させ、⑩①②③は車両の走行に対応できる姿勢をとる。（乗車要領は、左右いずれの足から乗車してもよいが乗車側によって足を合わせる。この場合手すり等を握って乗車する。）</p>
下 車	<p data-bbox="446 1281 644 1321">指 揮 者</p> <p data-bbox="427 1339 1375 1429">乗車後直ちに「操作始め」と号令し、④の「よし」の合図で下車する。</p> <p data-bbox="446 1447 644 1487">1, 2, 3 番員</p> <p data-bbox="459 1505 992 1545">④の「よし」の合図により下車する。</p> <p data-bbox="446 1563 644 1603">4 番 員</p> <p data-bbox="427 1621 1375 1765">⑩の「操作始め」の号令により、各隊員の必要な操作の完了を確認し、サイドブレーキを引き（確認）「よし」と合図してポンプレバーを入れて下車する。</p>

実施項目	実施要領
第1線延長	<p data-bbox="443 286 644 327">指揮者</p> <p data-bbox="427 344 1378 712">下車後、直ちに操作指揮位置（ポンプ車前方5メートル、ポンプ車右側方4メートル）に停止し、吸管操作およびホース延長等を監視する。つづいて②が第1ホース延長後おす金具を地面に置くと同時に①に先行して火点に向かって前進し、火点指揮位置に停止して火点（標的）の状況を確認した後、左に大きく向きを変えて操作の状況を監視し、②が注水補助位置にいたり「伝達終了」の合図後右に大きく向きを変えて火点状況を監視する。</p> <p data-bbox="443 730 1353 770">（火点指揮位置は①の斜め右前方、おおむね3メートルとする）</p> <p data-bbox="443 788 644 828">1番員</p> <p data-bbox="427 846 1378 1921">下車後、ポンプ車後方に向きを変えて発進しポンプ車の後部にいたり、ポンプ車左側に積載してある筒先を取りはずし筒先を背負い、さらに積載ホース（第3ホース）のめす金具部を右手で、左手はめす金具の反対側を保持し、めす金具部が上部斜め前方になるように左肩に乗せ、めす金具部を左手に持ち変え、右手をおろし左に向きを変え足を引きつけることなく発進し、ポンプ車左側を通過して第1、第2ホースの延長距離を考慮して火点に向かって前進し第3ホース延長地点にいたり、左手（めす金具部を持ったまま）を下げると同時に右手でめす金具部を持ち変え、左手でめす金具の反対側を保持し、めす金具が手前になるように肩からおろして地面に立て、展張する。次いで右手はおす金具を持ったまま左足を軸に身体を右回りに反転させ、おす金具を左足近くに置き、身体を起こして筒先を第3ホースと結合して確認し、左手でノズル近くのプレイパイプを持ち、右手で取手を握ると同時にホースから左足を離して（右足を軸）火点側へ1歩踏み込み、基本注水姿勢をとる。②が第2ホースを延長し、第3ホースに結合して姿勢を正した時点で②に対し「放水始め」と合図し、火点に向かっておおむね15メートル前進し、左上腕と腹部で筒先を抱え込み、折りひざ又は折りひざに準じた姿勢で、右手でホースをたぐり寄せ、これを右手で持って立つと同時に右足を1歩大きく</p>

実施項目	実施要領
第1線延長	<p>踏み出し、半円を描くようひろげ、おおむね5メートルの余裕ホースをとり、（後方におおむね1メートルの注水補助ができる場所をつくる。）基本注水姿勢をとる。次いで右手を筒先から離さないように滑らせながらプレイパイプの中央付近へ移動し、筒先を右腋下と右腕で完全に抱え左手を筒先から離さず滑らせながらノズルを握り徐々に開き、ノズルが開いたならば左手を離さないように滑らせてプレイパイプ上部を握り、右手もプレイパイプを離さないように滑らせながら取手を握って標的に注水する。</p> <p style="text-align: center;">2 番 員</p> <p>(1) ホース延長</p> <p>下車後、ポンプ車後方に向きを変えて発進しポンプ車の後部にいたり第2ホースを搬送に便利な位置に置き、次いで第1ホースを展張に便利な位置に搬送し、ホースのめす金具が手前になるように地面に立て、展張し、おす金具近くを折って搬送に便利な位置に置き、右足をホースから離すと同時にめす金具を両手で持ち上げ左手でめす金具、右手はホースに持ち変えおおむね2メートルの余裕ホースをとった後、めす金具を両手で持って第1放口に結合し確認する。つづいて折りひざ又は折りひざに準じた姿勢で第2ホースを左肩にかつぎ、第1ホースのおす金具を右手に持ち腰につけた後展張ホースの左側に沿って延長し火点に向かって前進する。第2結合実施場所にいたり、第1ホースのおす金具をその場に置き、第2ホースをめす金具が手前になるように肩からおろして地面に立て、展張し、第2ホースのおす金具近くを折って搬送に便利な位置に置き、第1ホースと第2ホースを結合し確認する。次いで第2ホースのおす金具を右手に持ち、腰につけたのち展張ホースの左側に沿って延長し、第3結合実施場所にいたり、第2ホースのおす金具をその場に置き、第2ホースと第3ホースを結合し、確認して火点の方向に向きを変え、右足を左足に引きつけて基本の姿勢をとる。（両足かかどが第3結合部より火点側になる。）つづいて</p>

実施項目	実施要領
第1線延長	<p>①の「放水始め」を復唱し、回れ右をして（右足を引きつけることなく）発進し、延長ホースの左側に沿ってポンプ車方向に前進する。</p> <p>(2) 放水開始の伝達</p> <p>伝令停止線内の位置で④に相対して停止し、右手を垂直にあげて「放水始め」と④に伝達し、④が復唱の手を下ろした後右手をおろし回れ右をして（右足を引きつけることなく）発進し、延長ホースの左側にそって最短距離で注水部署（①の反対側一歩後方）にいたり「伝達終り」と合図して注水補助を行う。</p> <p style="text-align: center;">3 番 員</p> <p>(1) 吸管伸長</p> <p>下車後、ポンプ車後方に向きを変えて発進し吸管積載部の左側に右向け止まれの要領で止まり（開脚）、近くの吸管止め金はずし、④から送り出されたストレーナー付近の吸管を両手で受け取ると同時に吸管左側に出て右手は吸管の下から左手は吸管を左腋下にかかえるように持ち変え、伸長方向に向きを変え④の送り出す吸管のよじれをとりながらストレーナー側に重心をかけ、引きずらないように④と協力して伸長する。つづいて④の「よし」の合図で④と歩調を合わせて、左足から2歩半で吸管投入に便利な位置まで進み、吸管をその場に置き、右足を立てた折りひざの姿勢で吸管控綱を取りはずして（控綱を固定しておく輪ゴムはそのまま籐かご又は吸管に付けたままとする。）右脇に置き、右手で控綱の根本と端末を持ち、左手で吸管を持って立ち上がり、「よし」と合図して右足を半歩前に踏み出し、④の協力で吸管を水利に投入する。つづいて吸管控綱の端末を右手に持ってポンプ車方向に向きを変え、かけ足行進の要領で発進し、ポンプ車後部にいたり、車両後部のきょう固な位置にもやい結び及び半結び（端末をおおむね10cm残す。）で結着した後、枕木をとり出して吸管投入位置に向きを変え、かけ足行進の要領で発進し、枕木取付位置にいたり枕木を吸管的</p>

実施項目	実施要領
第1線延長	<p>下に敷き、バンドを取り付ける。</p> <p>(2) とび口搬送及び部署</p> <p>枕木取り付け後、とび口積載方向に向きを変え、かけ足行進の要領で発進し、とび口積載部に右向け止まれの要領（開脚）で止まり、とび口柄の中央部付近を左手で上から持ち右手は下からほぼ肩幅の間隔となるよう持ってとび口をおろし、左に向きを変えると同時にこれを左腋下に抱えて、かけ足行進の要領で発進し、延長ホースの左側に沿って最短距離で破壊地点にいたり、左手で柄の中央部を、右手で柄の後部（後端からおおむね10cmを残した位置）を持ってとび口を構える。</p> <p style="text-align: center;">4 番 員</p> <p>(1) 吸管伸長</p> <p>下車後、ポンプ車後方に向きを変えて発進し吸管積載部の右側に右向け止まれの要領で止まり（開脚）、近くの吸管止め金はずし、ストレーナー付近の吸管を③に渡した後、吸管伸長が終わろうとするところで吸管を離すことなく吸管中央部にいたり、吸管左側に出て両手で吸管を腰部で持ち、（左手は吸管の上から右手は吸管の下から）ストレーナー側に重心をかけ「よし」と合図し、③と歩調を合わせて、左足から2歩半で、吸管投入に便利な位置まで進み、③の投入合図「よし」で右足を半歩前に踏み出し吸管投入の補助をする。</p> <p>(2) 送水準備</p> <p>吸管投入補助後、吸口方向へ向きを変え、かけ足行進の要領で発進し、吸管接地部をまたいで吸口に面し左向け止まれの要領（開脚）で止まり、吸口コックを全開し真空ポンプレバーとスロットバルブが同時にさわれる位置にいたり（同時にさわれない位置にある車種については、ホースをまたいで移動してもよい。）計器に配意しながら、揚水操作を行う。次いで右足を横に開き余裕ホースに配意した後、再び火点に向かって姿勢を正し、放水開始の伝達を待つ（第一放口側余裕ホースの後で</p>

実施項目	実施要領
第1線延長	<p>ポンプ運用に便利な位置)</p> <p>(3) 放水開始及び送水操作</p> <p>②の「放水始め」の伝達に右手を垂直にあげて「放水始め」と復唱し、右手をおろして第1放口側に左足を1歩踏み出し一方の手で放口コックを全開にするまで徐々に開き、同時に計器に配意しながら他方の手でスロットルバルブを操作し、適正圧力を確保した後、左足を引きつけ火点に向かって姿勢を正す。</p>
第2線延長	<p>指揮者</p> <p>合図により火点監視の姿勢から①の方向に向きを変え「第2線延長始め」と号令し、そのままの姿勢で頭を動かし①及び②③④の操作状況を監視する。③が「第2線放水始め」を④に伝達し、注水部署にいたり「伝達終了」と合図したならば火点に向きを変え火点状況を監視する。</p> <p>1番員</p> <p>③の「第2線延長始め」の号令を復唱したのち、注水操作を続ける。</p> <p>2番員</p> <p>①の「第2線延長始め」の復唱に「よし」と合図してホースを離し、後方（ポンプ車側）に向きを変えて発進し延長ホースの左側に沿って伝令停止線内の位置で④に相対して停止し、「第2線延長」と合図し、④の「第2線延長」の復唱後④の後からポンプ車右側後部に右向け止まれの要領（開脚）で止まり、④から手渡される筒先を背負い、左に向きを変え、かけ足行進の要領で発進し、吸管接地部分をまたいでポンプ車後部のホース積載部にいたり、積載ホース（第3ホース）のめす金具を右手で、左手はめす金具の反対側を保持し、めす金具が上部斜め前方になるように左肩に乗せ、めす金具部を左手に持ち変え、右手をおろし左に向きを変え（足を引きつけることなく）発進し、ポンプ車左側を通過して、第1、第2ホースの延長距離を考慮して火点に向かって前進し第3ホース延長地点にいたり、左手（めす金具をもったまま）</p>

実施項目	実施要領
第2線延長	<p>を下げると同時に右手でめす金具部を持ち変え、左手でめす金具の反対側を保持し、めす金具が手前になるように肩からおろして地面に立て、展張する。次いで右手はおす金具を持ったまま左足を軸に身体を右回りに反転させ、おす金具を左足近くに置き、身体を起こして筒先を第3ホースと結合して確認し、左手でノズル近くのプレイパイプを持ち、右手で取手を握ると同時にホースから左足を離して（右足を軸）火点側へ1歩踏み込み、基本注水姿勢をとる。③が第2ホースを延長し、第3ホースに結合して姿勢を正した時点で③に対し「第2線放水始め」と合図し、火点に向かっておおむね15メートル前進し、左上腕と腹部で筒先を抱え込み、折りひざ又は折りひざに準じた姿勢で、右手でホースをたぐり寄せ、これを右手で持って立つと同時に右足を1歩大きく後に引き、半円を描くようにひろげ、おおむね5メートルの余裕ホースをとり、（後方におおむね1メートルの注水補助ができる場所をつくる。）、基本注水姿勢をとる。次いで右手を筒先から離さないように滑らせながらプレイパイプの中央付近へ移動し、筒先を右腋下と右腕で完全に抱え、左手を筒先から離さず滑らせながらノズルを握り徐々に開き、ノズルが開いたならば左手を離さないように滑らせてプレイパイプ上部を握り、右手もプレイパイプを離さないように滑らせながら取手を握って標的に注水する。</p> <p style="text-align: center;">3 番 員</p> <p>(1) 第2線ホース</p> <p>①の「第2線延長始め」の復唱に「よし」と呼唱して、とび口をその場に置き、身体を起こして後方に向きを変えて発進しホースにそって最短距離を通過してポンプ車後部のホース積載位置にいたり、第2ホースを搬送に便利な位置に置き、次いで第1ホースを展張に便利な位置に搬送し、ホースのめす金具が手前になるように地面に立て、展張し、おす金具近くを折って搬送に便利な位置に置き、めす金具を両手で持ち上げ右手でめす金具、左手はホースに持ち変えおおむね2メートルの余裕ホー</p>

実施項目	実施要領
第2線延長	<p>スをとった後、めす金具を両手で持って第2放口に結合し確認する。つづいて折りひざ又は折りひざに準じた姿勢で第2ホースを左肩にかつぎ、第1ホースのおす金具を右手に持ち、腰につけたのち展張ホースの左側に沿って延長し、火点に向かって前進する。第2結合実施場所にいたり、第1ホースのおす金具をその場に置き、第2ホースをめす金具が手前になるように肩からおろして地面に立て、展張し、第2ホースのおす金具近くを折って搬送に便利な位置に置き、第1ホースと第2ホースを結合し確認する。次いで第2ホースのおす金具を右手に持ち、腰につけた後、展張ホースの左側に沿って延長し、第3結合実施場所にいたり、第2ホースのおす金具をその場に置き、第2ホースと第3ホースを結合し、確認して火点の方向に向きを変え右足を左足に引きつけて基本の姿勢をとる。（両足かかどが第3結合部より火点側になる。）つづいて②の「第2線放水始め」復唱し、回れ右をして（右足を引きつけることなく）発進し、延長ホースの左側に沿ってポンプ車方向に前進する。</p> <p>(2) 第2線放水開始の伝達</p> <p>第2結合部付近をまたいで④の方向に直進し伝令停止線内の位置で④に相対して停止し、右手を垂直にあげて「第2線放水始め」と④に伝達し、④が復唱の手を下ろした後右手をおろし、回れ右をして（右足を引きつけることなく）発進し、延長ホースの右側に沿って最短距離で第2線の注水部署（②の反対側1歩後方）にいたり「伝達終了」と合図する。つづいて進行方向に向きを変え破壊地点にいたり、再び、とび口を持って構える。</p> <p style="text-align: center;">4 番 員</p> <p>(1) 第2線延長受達</p> <p>②の「第2線延長」の伝達に基本の姿勢で「第2線延長」と復唱し、回れ右をして（足を引きつけることなく）発進し、吸管接地部をまたぎ第2線筒先積載部にいたり、筒先を取りはず</p>

実施項目	実施要領
第2線延長	<p>しそのまま右に向きを変え②と相対し、筒先を水平にして②に渡す。</p> <p>(2) 第2線放水開始の送水操作</p> <p>筒先を渡した後、右に向きを変えて発進し、吸管接地部をまたぎポンプ車右側を通過してポンプ車の前部にいたり（ポンプ車左側面の延長線の右側で③の通過を待つ）、③が目の前を通過した後、第2放口側に移動し、火点に向かって姿勢を正す。次いで左足を横に開き余裕ホースに配意した後、再び火点に向かって姿勢を正し、放水開始の伝達を待つ。</p> <p>(3) 放水開始及び送水操作</p> <p>③の「第2線放水始め」の伝達に右手を垂直にあげて「第2線放水始め」と復唱し、右手をおろして第2放口側に右足を1歩踏みだし、一方の手は放口コックを全開するまで徐々に開き、同時に計器に配意しながら他方の手はスロットルバルブを操作し、適正圧力を確保した後右足を引きつけ火点に向かって姿勢を正す。③の②に対する「伝達終了」の合図を確認した後左に向きを変え（足を引きつけることなく）発進し、ポンプ車前を通り第1放口側に右向け止まれの要領で停止し、火点に向かって姿勢を正して計器に配意しながら送水操作を続ける。</p>
放水中止	<p>指揮者</p> <p>合図により火点監視の姿勢から①の方向に向きを変え姿勢を正して「放水止め」と号令し、各隊員の操作状況を監視し、③が「放水止め」の伝達後とび口を立てたのを確認して、火点方向に向きを変え鎮圧状況を監視する。</p> <p>1番員</p> <p>④の「放水止め」の号令で基本注水姿勢からノズル操作（放水開始時のノズル操作参照）を行って放水中止し「第1線放水止め」と復唱し、③が④に放水中止の伝達を終わって注水部署（第1線の注水部署と第2線の注水部署の中間地点）にもどり、「伝達終了」の合図で右手を筒先から離さないように滑らせながらプ</p>

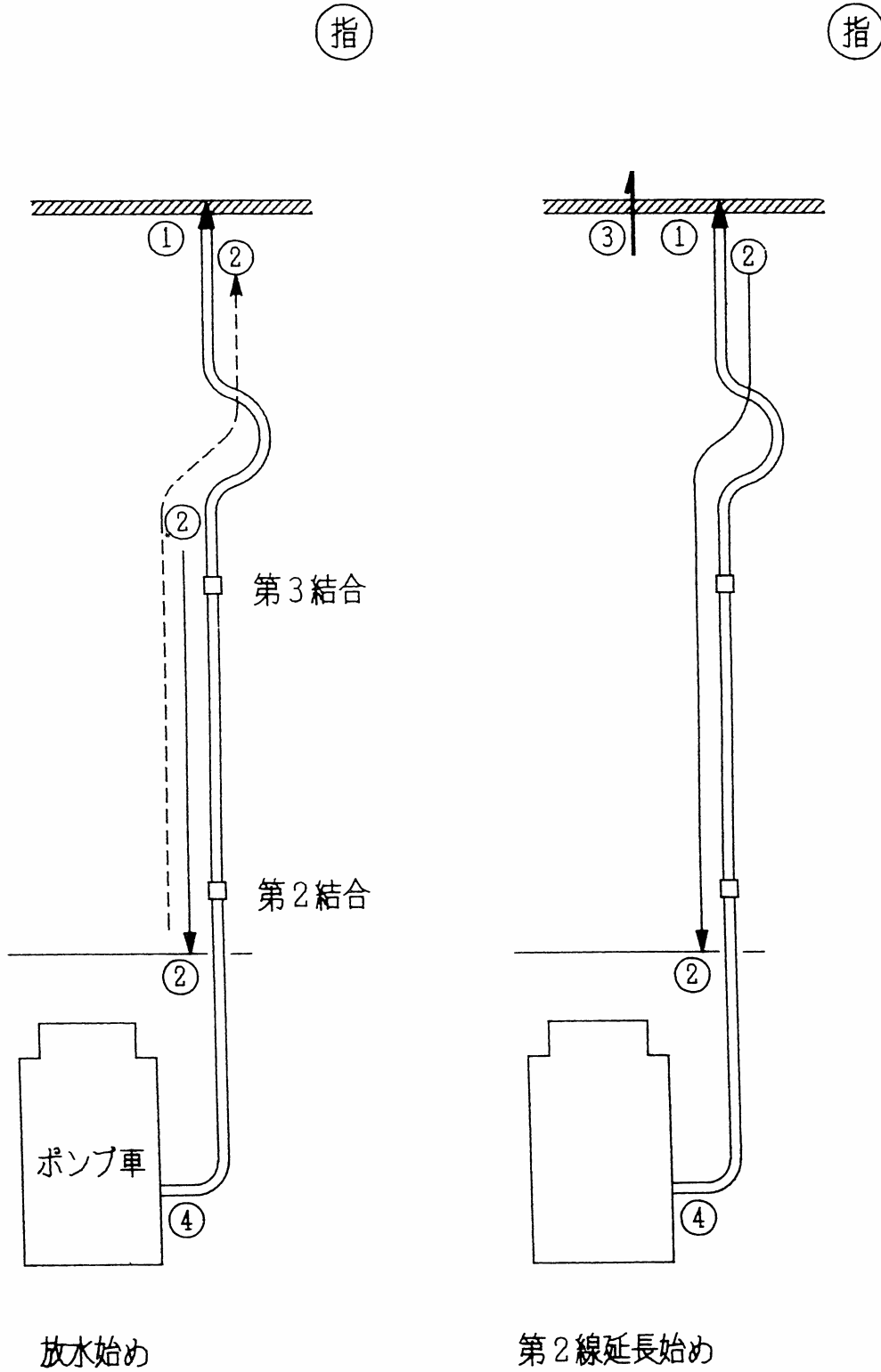
実施項目	実施要領
放水中止	<p>レイパイプの中央付近へ移動し、筒先を右腋下にしっかり抱え、ノズルを下方に向けて排水し（下向きでノズルを全開にする。）審査副班長の指示によりノズルを完全に閉める。ノズルから左手をレイパイプの先端付近に滑らせながら握り変え、右手でノズルを握り「よし」と合図して左手を離すと同時に左足を右足に引きつけ、筒先を右足ぎわにたてて姿勢を正す。</p> <p>2 番 員</p> <p>㊦の「放水止め」の号令で基本注水姿勢からノズル操作（放水開始時のノズル操作参照）を行って放水中止し「第2線放水止め」と復唱し、③が④に放水中止の伝達を終わって注水部署（第1線の注水部署と第2線の注水部署の中間地点）にもどり、「伝達終了」の合図で右手を筒先から離さないよう滑らせながらレイパイプの中央付近へ移動し、筒先を右腋下にしっかり抱え、ノズルを下方に向けて排水し（下向きでノズルを全開にする。）審査副班長の指示によりノズルを完全に閉める。ノズルから左手をレイパイプの先端付近に滑らせながら握り変え、右手でノズルを握り「よし」と合図して左手を離すと同時に左足を右足に引きつけ、筒先を右足ぎわにたてて姿勢を正す。</p> <p>3 番 員</p> <p>①の「第1線放水止め」及び②の「第2線放水止め」の復唱を確認した後、「よし」と合図して、とび口をその場に置き、身体を起こして後方に向きを変えて発進し、第1線の延長ホースの左側に沿って伝令停止線内の位置で④に相対して停止し、右手を横水平にあげて「放水止め」と④に伝達し、④が復唱の手を下ろした後右手をおろし、回れ右をして（右足をひきつけることなく）発進し、第1線の延長ホースの左側に沿って注水部署（第1線の注水部署と第2線の注水部署の中間地点で①の右足かかとと②の右足かかとを結んだ線上に③の両足かかとが並ぶ位置）に停止して、「伝達終了」と合図し、左足を一步踏み出しとび口をとり右足ぎわに立てて姿勢を正す。</p>

実施項目	実施要領
放水中止	<p data-bbox="443 286 644 327">4 番 員</p> <p data-bbox="427 344 1378 878">③の「放水止め」の伝達に右手を横水平に上げて「放水止め」と復唱し、右手をおろし第1放口側に左足を1歩踏み出し計器に配意しながら一方の手でスロットルバルブを操作し同時に他方の手で第1放口コックを徐々に閉じる。次いで足を引きつけることなく右に向きを変えて発進しポンプ車前を通過して第2放口側にいたり放口コックを徐々に閉じ火点に向かって姿勢を正す。次いで③の放水中止の「伝達終了」の合図を確認した後、左に向きを変えて足を引きつけることなく発進し、再びポンプ車前を通過して第1放口側に右向け止まれの要領で停止した後、火点に向かって姿勢を正す。</p>
収 納	<p data-bbox="443 896 644 936">指 揮 者</p> <p data-bbox="427 954 1378 1102">合図により①の方向に向きを変え「おさめ」と号令し、①②が筒先を離脱し、背負うのを確認した後進行方向に向きを変え①②とともに発進し、集合指揮位置で停止する。</p> <p data-bbox="443 1115 644 1155">1・2 番 員</p> <p data-bbox="427 1173 1378 1321">㊦の「おさめ」の号令に「よし」と呼唱し、筒先を第3ホースから離脱し、背負った後㊦とともに発進しポンプ車左側をとおり筒先を元の位置に収め集合線に集まる。</p> <p data-bbox="443 1335 644 1375">3 番 員</p> <p data-bbox="427 1393 1378 1599">㊦の「おさめ」の号令に「よし」と呼唱し、とび口を浮かし、回れ右の要領で向きを変えると同時にとび口を左手にもちかえて左腋下に抱え、とび口収納位置にいたり、両手でとび口を持ち上げ元の位置に収め集合線に集まる。</p> <p data-bbox="443 1612 644 1653">4 番 員</p> <p data-bbox="427 1671 1378 1930">㊦の「おさめ」の号令に「よし」と呼唱し、乗車位置にいたり乗車した後、ポンプレバーを操作し、次いでエンジンを停止したのち下車し延長ホースの内側で第1放口のホースを離脱し、伸長させ、ポンプ車前を通り、第2放口にいたりホースを離脱、伸長させた後集合線に集まる。</p>

実施項目	実施要領
身体、服装の点検	<p>指揮者 集合指揮位置で、負傷の有無及び服装の乱れを点検し整える。</p> <p>各隊員 集合線で負傷の有無及び服装の乱れを点検し整える。</p>
点検報告	<p>指揮者 各隊員が集合線に整列した後「点検報告」と号令し、各隊員の点検結果の報告に対しそれぞれ「よし」と呼唱して受領する。</p> <p>各隊員 身体、服装の点検終了後、②を基準に自主整とんし、㊦の「点検報告」の号令で①から④まで順次㊦に相対し、「○番員異常なし」と報告する。</p>
終了報告	<p>指揮者 集合指揮位置から、かけ足行進の要領で発進し、審査班長の前方5メートルの位置で停止し、審査班長に挙手注目の敬礼を行い、「◎都道府県○市町村消防団ポンプ車操法を終了しました。」と報告し、挙手注目の敬礼を行った後、回れ右をし、かけ足行進の要領で発進し、集合指揮位置で各隊員に相対して停止する。</p> <p>各隊員 ㊦の終了報告中は基本の姿勢で待つ。</p>
解散	<p>指揮者 各隊員に対し、「わかれ」と号令し、各隊員に答礼し解散させる。</p> <p>各隊員 ㊦の「わかれ」の号令により、一斉に㊦に相対し挙手注目の敬礼を行い解散する。</p>

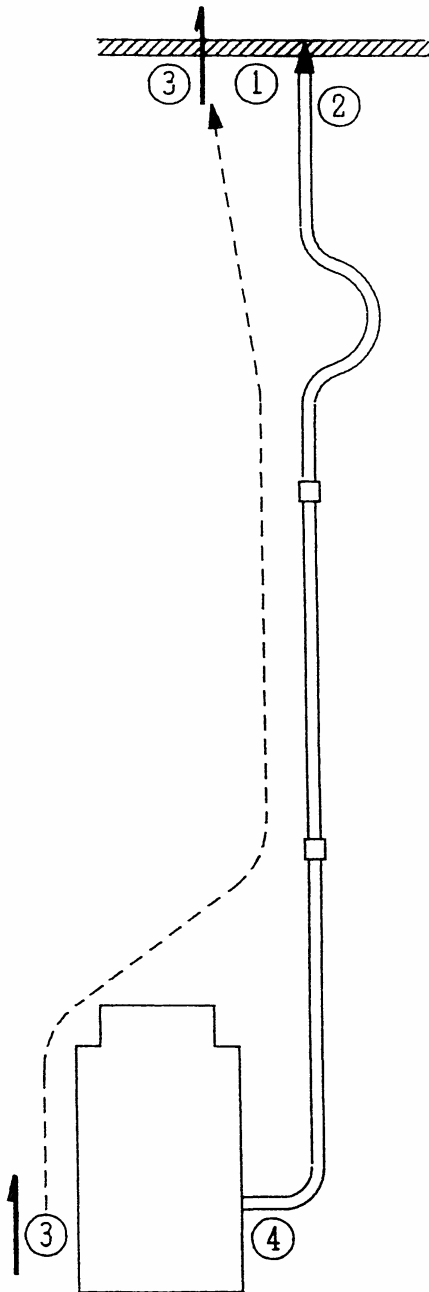
4 経路説明図

(1) 2番員の伝達経路図



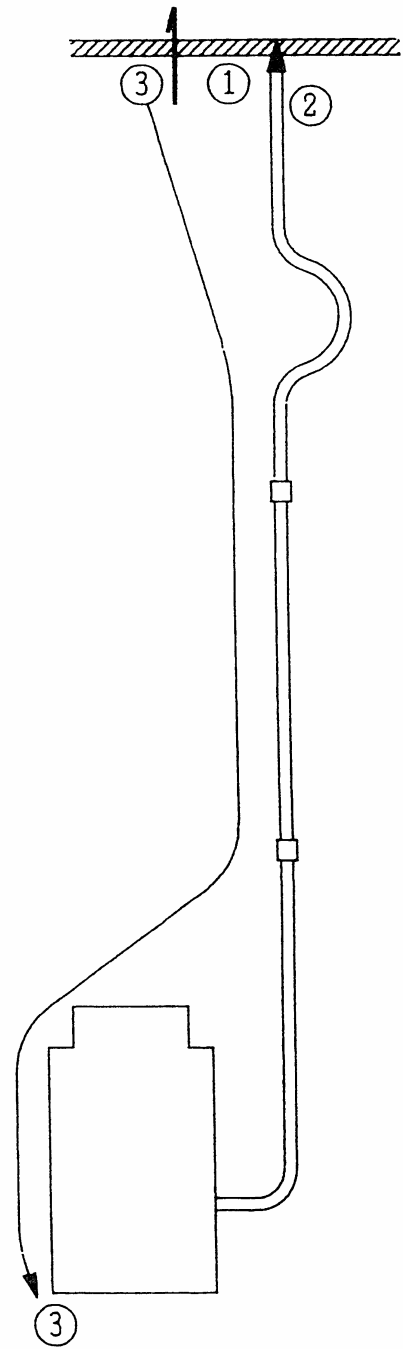
(2) 3番員の経路図

指



とび口搬送

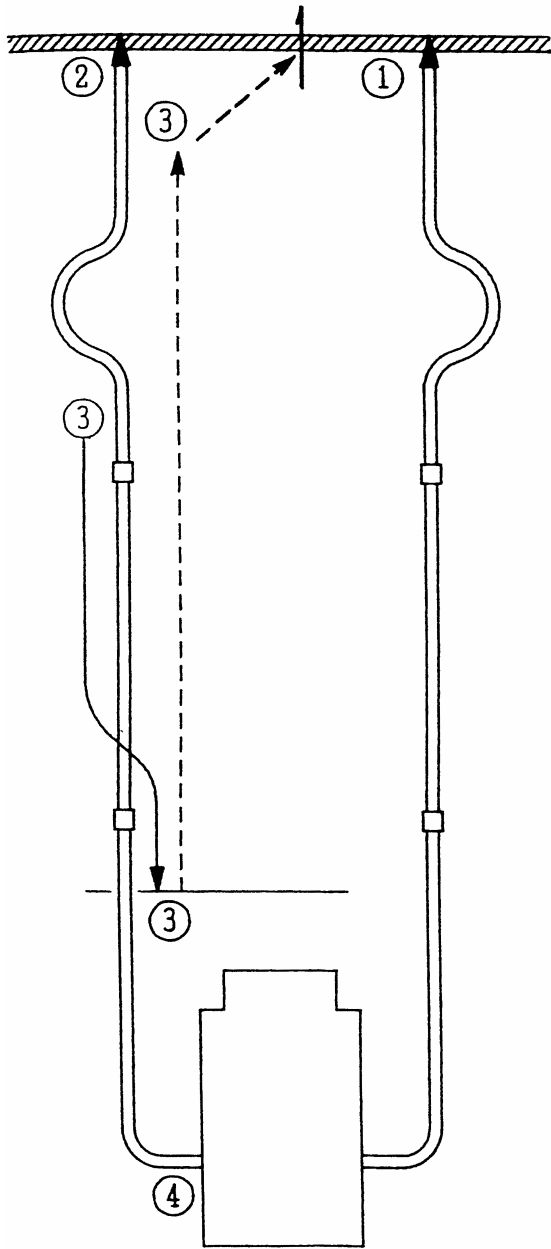
指



第2線延長始め

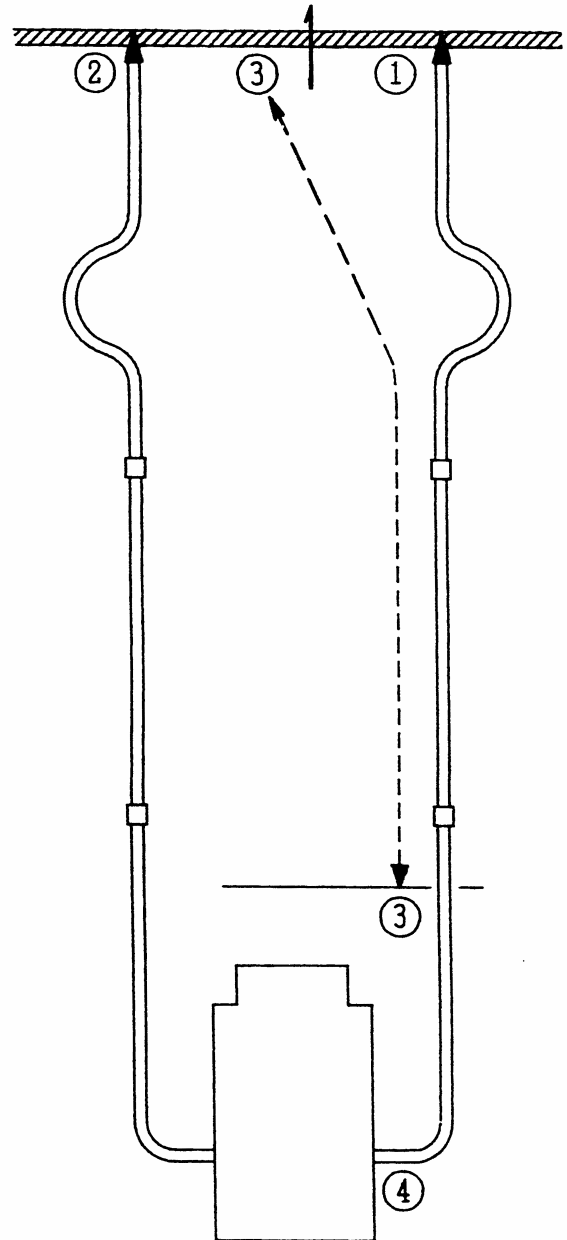
(3) 3番員の伝達経路図

指



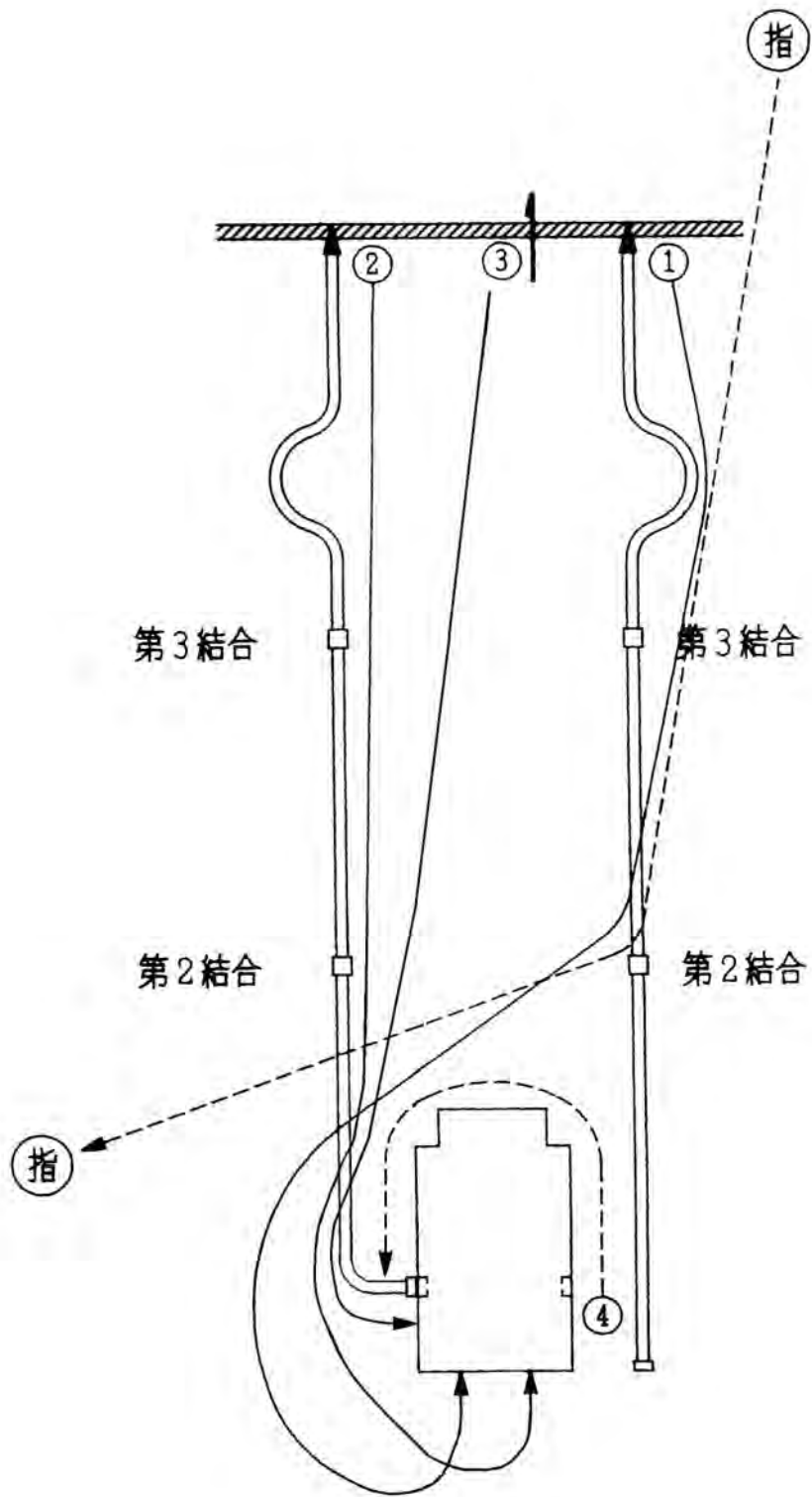
第2線放水始め

指



第1線、第2線放水止め

(4) 収納経路図 (ポンプ車)



5 延長体系図

